

シグネチャーパビリオン

Dialogue Theater -いのちのあかし- (河瀬館)

【設計】SU0・平岩構造計画・総合設備コンサルタントJV



いのちパーク側からの外観



対話シアター内観

写真協力：2025年日本国際博覧会協会



森の集会所 外観

【パビリオンの概要】

譲り受けた3棟の廃校木造校舎を活用し、パビリオン建築として再構築する建築の新たな可能性を探究する試みである。「エントランス棟」は敷地形状と使い方に合わせて2階建の建築を平面・断面的にずらしながら3階建の建築として、「対話シアター棟」は4mの高さの高基礎のような壁面の上に木造平屋の建築を乗せシアターとして、「森の集会所」は既存の柱・梁の軸組状態に鉄骨補強を行い、外壁面をガラスと既存建具のみとした開放的な建築として、それぞれが既存の建築を使用しながら新しい形の建築として新築された。社会の実験場でもある万博という機会を生かし、新しいものと古いものという対比的な作り方ではなく、時間を積み重ねるような建築のあり方を模索したプロジェクトである。

【設計概要】

敷地面積：1635.65 m²
建築面積：789.73 m²
延床面積：1534.54 m²
建蔽率：48.29%
容積率：91.29%
階数：地上3階
構造：木造 一部RC造